

高齢者に長寿祝金を支給

市では、9月15日「敬老の日」の行事として、長寿のお祝いと敬老の意を表し、長寿の節目を迎える方に祝金を支給します。

◆受給資格

9月15日現在において長寿の節目を迎えられる方（米寿・白寿）および満100歳以上の方で、本市に引き続き1年以上居住し、本市の住民基本台帳に記録されている方に支給します。

◆祝金の額

・米寿

満88歳の方（大正15年9月17日生～昭和2年9月16日生）5千円

・白寿

満99歳の方（大正4年9月17日生～大正5年9月16日生）1万円

・満100歳以上の方

（大正4年9月16日以前に生まれた方）2万円

◆資格の喪失

9月14日までに、いずれかに該当する場合

- ①市外に転出したとき
- ②亡くなられたとき
- ③その他祝金の支給が適当でないと思えたとき

◆支給期間

9月15日(㊄)～30日(㊄)

（地区民生委員等が配付）



お問い合わせは、高齢者支援課（2階）

☎(20)1572、☎(20)1610へ。

市長が行く

茂原が最高気温？

No.73

茂原市長 田中豊彦



この夏は、エルニーニョ現象の影響で、冷夏になると言われていました。しかし、ふたを開けてみると、連日35度以上の猛暑日が続きました。しかも、どういうわけかこの茂原市が、全国でもトップを争うくらいの暑さの記録を残しています。体感的にはそこまで暑いとは感じられず、気象庁にその原因を何度も尋ねましたが、いまだによく分かっておりません。

不思議でなりません。テレビのニュースで、茂原市の気温が埼玉県熊谷市や群馬県館林市と並んで報道されるたびに、納得できない気分になるのは私だけでしょうか。たぶん市内の他の場所ならそこまで高くはないかと思いい、気象庁にアメダスの設置場所の変更を申し入れましたが、特別な理由（用地買収等）がないかぎりダメと断られました。

模でのもつと大がかりな取り組みがなされなければ、温暖化は進むばかりでしょう。もしかしたら、この茂原の暑さも観測機器の設置場所が悪いかではなく、地球から突きつけられた事実なのかも知れませんが、暑かった夏も、そろそろ終わろうとしています。猛暑の中、行われた茂原七夕まつりが、無事に終わったことは、私にとっても嬉しいことでした。

観測場所は昭和53年設置以来変わっておらず、川中島下水処理場の広場脇にあります。考えられることは、周囲の環境の変化により、つまりビルなどが増えることにより、暑い空気が対流するとか、反射熱の影響があるのではないかといいことぐらいです。地形的に、茂原は盆地でもなく、海岸線にも比較的近く、最高気温を記録するような場所ではないように思うのですが、

それにしても、地球温暖化は確実に進んでいます。アメリカや中国の石炭を大量に使った火力発電や、車の排気ガス等により大気汚染が進んだことが大きな要因とされています。

日本においては、排気ガス規制も進み、環境に配慮した火力発電もされており、温暖化への対策は行われているように思いますが、そのようなものは大河の一滴で、世界規



▲茂原地域気象観測所（アメダス）